BY APPOINTMENT TO
THE ROYAL DANISH COURT
CARL HANSEN & SØN

カール・ハンセン＆サン 新製品情報

ヴィルヘルム・ラウリッツェン「フォイエベンチ」にショートバージョンが登場

2025年8月 販売スタート

1908年創業 デンマーク王室御用達家具メーカー Carl Hansen &Søn（カール・ハンセン＆サン）は、Vilhelm Lauritzen（ヴィルヘルム・ラウリッツェン）によるシンプルなデザインと卓越したクラフトマンシップが融合した「フォイエベンチ」のショートバージョン「VLA75S フォイエ ベンチ」の販売を、2025年8月より開始します。

「フォイエベンチ」は、2022年に幅238.5センチのサイズで発表され、大変好評をいただいています。
そしてこのたび、ご要望の多かったコンパクトなサイズを、幅131センチのショートバージョンとして新たに展開します。

デンマークが誇る建築家ヴィルヘルム・ラウリッツェン(1894 - 1984)が設計し、1945年コペンハーゲンに完成旧ラジオ局「Radiohuset（ラジオハウス）」のロビーのために製作された家具、フォイエシリーズは、Vilhelm Lauritzen Architects（ヴィルヘルム・ラウリッツェン・アーキテクツ）とのコラボレーションにより、カール・ハンセン＆サンが2022年に製品化しました。

カール・ハンセン＆サンのCEOクヌード・エリック・ハンセンのコメント

「今回の新しいベンチにより、ヴィルヘルム・ラウリッツェンのコレクションは一層充実しました。短めのサイズとなり、ご自宅、レストラン、ホテルでご利用いただきやすくなりました。控え目でシンプルな美しさと、カール・ハンセン＆サンの卓越した職人技、素晴らしい素材との融合をお楽しみください」

フォイエベンチ

細身ながら安定感のあるオーク材のフレームに、ファブリックまたは丹念に仕上げられたレザー張りの贅沢なシートが取り付けられています。
フレームは、デンマークのフュン島にあるカール・ハンセン＆サンの工場で、熟練した職人によって伝統的なほぞ継ぎで丁寧に接合され、手作業で磨き上げられることにより、継ぎ目の目立たない、シルクのように滑らかな表面となっています。
そのフレームと、まるで空間に浮かんだような座面や背もたれの個性的な組み合わせが特徴的です。
ダブルステッチを施した張地のシートは、手縫いのパイピングとボタンを配した他にはないシンプルな表情をのぞかせます。

フォイエシリーズは、ベンチの他に、ソファ、ラウンジチェアがラインアップされています。
フォイエシリーズの詳細は下記リンクよりご覧いただけます。
https://www.carlhansen.com/ja-jp/jajp/collection/collections/foyer-series

Radio House（ラジオハウス）とFoyer Series（フォイエシリーズ）

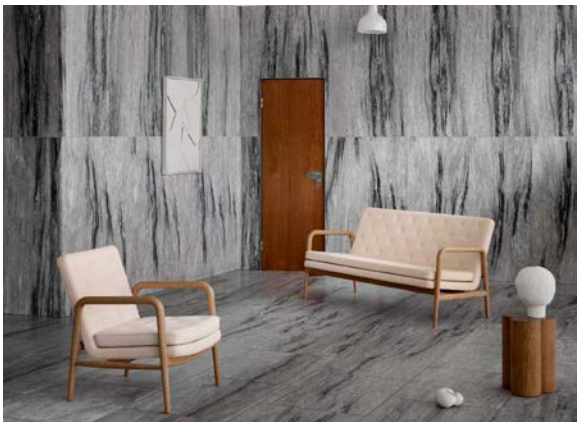
ヴィルヘルム・ラウリッツェンがデザインし、1936年に建設が始まり、1945年にコペンハーゲンに開設された「ラジオハウス」は、今日までデンマークの機能主義の最たる例の一つに数えられてきました。
当初デンマーク国営放送局センターとして設計されましたが、現在は王立デンマーク音楽アカデミーの本部となり、「Gesamtkunstwerk (理想的な建築芸術作品)」として国際的に評価されています。

ラウリッツェンは建物自体に加え、家具、照明、ドアハンドルに至るまで、インテリア全体をデザインし、本館のフォイエ (ホール) 向けとして、ベンチ、ソファ、アームチェアから成るエレガントなフォイエシリーズをデザインしました。

自然から大きなインスピレーションを受け、フォイエ シリーズのエレガントな曲線や有機的なラインの木材など、その作品には純粋で有機的なフォルムが採用されています。

ラウリッツェンの機能的な美に対する独特のセンスは、真鍮、チーク材、牛革、グリーンランド産大理石などの高級素材を通して体現され、 フォイエシリーズは、ラウリッツェンの代表作として、今日も「ラジオハウス」のホールを飾っています。

2022年に創立100周年を迎えたヴィルヘルム・ラウリッツェン・アーキテクツとのパートナーシップのもと、同年よりカール・ハンセン＆サンで生産が開始され、デザインクラシックコレクションの一部に加わりました。



製品情報

製品名	VLA75S フォイエ ベンチ（VLA75S Foyer BENCH）
サイズ (cm)	座面高45.5、幅131、奥行き48
参考小売価格	324,500円 (税込) ～
素材	FSC®認証オーク材 (FSC C135991)、ファブリック、レザー
発売日	2025年8月

高解像度画像はこちらからダウンロードいただけます
https://carlhansen.presscloud.com/digitalshowroom/#/selection/247692661844253

IMAGES

ヴィルヘルム・ラウリッツェン プロフィール (1894 – 1984)

デンマークで最も影響力のある建築家の一人であり、デンマークのモダニズムの父です。ラウリッツェンが手掛けたプロジェクトの多くは、機能に合ったフォルムを備えるという、建築に対する革新的なアプローチの好例として、今日でも残っています。ラウリッツェンは生涯を通じて、建築は特権階級に属する少数のものだけではなく、すべての人に役立つ応用芸術であるべきだという主張を持ち続けました。ラウリッツェンの作品として最も有名で、高く評価されている建築物には、現在ヴィルヘルム・ラウリッツェンターミナルとして知られるコペンハーゲン空港第1ターミナル (1939年)、フレデリクスベルクのRadiohuset放送ビル (1945年)、コペンハーゲンの音楽ホールVega (1956年)、米国ワシントンD.C.のデンマーク大使館 (1960年) などがあります。1894年9月10日にデンマーク・スラゲルセの町で生まれたヴィルヘルム・ラウリッツェンは、1912年にソロ・アカデミー高校、1921年にコペンハーゲンの王立芸術アカデミー建築学校を卒業すると、その翌年Tegnestuen Vilhelm Lauritzen (今日のVilhelm Lauritzen Architects) を設立しました。ラウリッツェンの才能はインテリアデザインにまで及び、ドアハンドル、灰皿、手すりからランプ、ソファ、椅子まで、生涯にわたりあらゆるものを生み出しました。

プレス関係のお問合せは下記までお願いいたします。

カール・ハンセン&サン ジャパン株式会社
Head of Marketing & Communications, Japan マーケティング・コミュニケーション部門責任者
阿部理歩 AYAHO ABE　MAIL：ayab@carlhansen.jp

カール・ハンセン&サン ジャパン PR SUPPORT
株式会社ハウ　MAIL：chs_pr@how-pr.co.jp　TEL：03-5414-6405

製品に関するメディア掲載時のクレジットは下記記載をお願いいたします。
カール・ハンセン＆サン 東京本店/カール・ハンセン＆サン大阪　https://www.carlhansen.com
もしくは
カール・ハンセン＆サン 東京本店　TEL： 03-6455-5522